

OPT NETWORK



'97 Summer [夏号]

通巻11号

1997年7月(季刊)発行：光交流会

光交流会はオプトエレクトロニクスに興味をもつ人々が光情報の交換の場として1988年に設立した異業種交流団体です。企業規模の大小やメーカーが商社かと言った業態、企業人が学者かと言った職業に関係なく、自主性と積極性を持つ会員により構成されています。立場や利害を越えて光産業に係わる様々な立場の方々が出会い、語り、学び合う場所です。ここに集う人々が日本のみならず世界の光産業の健全な発展に寄与し、世界の人々におおいに貢献することを願いつつその一条の光となるよう皆様のご理解とご参加をお待ちしております。

視 点

日昭無線株式会社

ニュー・メディア営業部長

中原 弘之

最近、どうも漢字の書き方を忘れてしまった様な気がして仕方がありません。読むことは出来るのですが、書くとなると「あれ、どんな字だったっけ？」と考えてしまう。自分の記憶力の悪さを棚上げさせて頂くのなら原因の一つとしては、ワ・プロを使って文章を書くことにあると思います。ワ・プロはパソコンの普及と共に、現代のオフィスには無くてはならない(?)ツ・ルとしての確固たる地位を築いていると言っても過言ではないと思います。実を言うと私自身、パソコンを使いだした理由は楽をしたい一心からでした。当時は電子部品の営業部門にいたのですが、その頃は台帳も現品票を作るのもすべて手作業でした。残業が続き、「これはたまらん」という事になったのです。PC9801は高嶺の花でしたので、富士通の8ビットマシンを買いました。買ったただけなのにもうこれで楽が出来ると大喜びしていたのですか

ら、全くどうしようもありません。結局、その仕事自体は非常に楽しめたのですが、楽しめたとたんに仕事がどんどんやってきて、以前にも増して忙しくなっていました。結局、喜んだのは上司や社長だけだ



ったのでしょうか。コンピュータなどというものは人間の役に立てば良いわけで、人間がコンピュータに使われてしまう様な気持ちになったらおもしろいものではありません。さて、光交流会でもインタ・ネットを通じ、幅広く社会にアピールを行っています。今後、会員の皆様方のご参加で大いに盛り上げて行きたいと思っています。ご興味のある方は、定例会の二次会の時にでもお声がけ下さればと思います。



平成8年12月 第94回 講演会・忘年会

96年最後の12月講演会は 井上 弘先生を迎え光学機器の設計・製造の留意点と題して、今まであまり耳にしないノウハウや極意を鮮やか且つユニークなタッチで息をつく暇もなく興味深く聞かせていただいた。井上先生は機械の専門家としてでありながら光学の道に長い経験をお持ちで、著書では合理的なグラフやイラストをエネルギーに書き込まれ、ただ驚くばかりの知恵の宝庫という感覚である。今回は信頼性、精度、コストに効果のある、加工法も熟慮したトータルな設計の話しを伺った。この内容は単に光機設計にとどまらず他の業種でも、また人生航路に於いても活用できる発想であると言える。本年を締め括る立派なセミナーだった。その後、会場を移した忘年会では当会を技術的にサポートしていただいている東京農工大学の吉澤徹先生を始め過去にご講演いただいた先生方をお招きし、大勢の会員が参加して楽しく、にぎやかに「光」の輪を広げた。

(文：山形 康文)



平成9年1月 第95回 恒例「一押し商品発表会」

本年最初の定例会は第95回を数え、新年恒例となった「一押し商品発表会」がココリサーチホールで開催されました。今回は発表内容がバラエティに富んでいただけでなく、各演者の熱弁とサークル形に配置された椅子による皆さんの一体感がすばらしかったのでは...と後日の幹事会の感想でした。

発表されたのは

酒井硝子エンジニアリングの非接触による三次元寸法測定技術 / 西原 一博氏

アタゴの屈折計 / 井上 正清氏

岡本硝子のイオンプレーティングの紹介 / 菊月 康二氏

新広宣伝社のドラムスキャナーによる写真分解 / 昇 昌昭氏

日昭無線のファイバーケーブル接合器 / 四釜 信寛氏

オリエンタル精工の健康歯ブラシ / 室岡典行氏

各社がそれぞれの技術で頑張っている姿に感銘を受けたとの声が聞こえました。このような発表会を年3～4回行って会員全員が一度は発表の場に立つようにしようとの幹事会の意向をお伝えしておきます。その外に日本工業出版の清水さんから「光アライアンス」の紹介もありました。

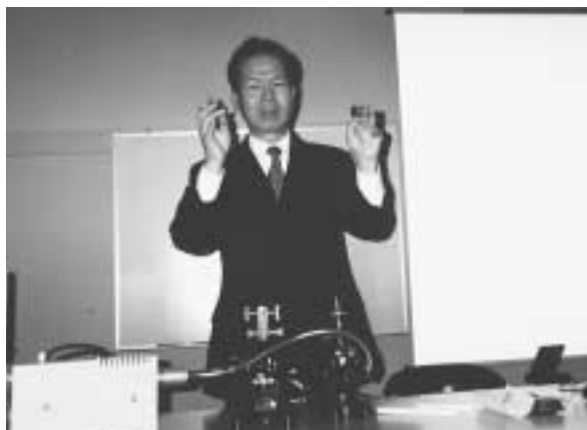
(文：川澄英明)



平成9年2月 第96回 自社技術紹介

「顕微鏡に付いて」実際にレンズを使って2月19日(水)は 参加者全員が両手にレンズを持って、さながら小学校の理科の実験の授業を心に浮かべたのではないのでしょうか。2つのレンズを一定の距離に固定して、対象物から遠ざけたり 近づけたり。「おっでっかい」「見えた見えた」とにぎやか。2つのレンズの距離に基本的な規格があること。この決め方が性能に大きな影響があること。対物レンズの開き角度と倍率の関係。照明側の絞りの2つの役割など、他の光学系を考える我々にはヒントとなる要素がたくさん含まれていて、大変役に立つお話でした。講師は三葉光機製作所の荒川健一社長、貴重なお話をありがとうございました。

(文：川澄 英明)



平成9年3月 第97回

「自社技術・製品紹介」

3月の定例会は1月の「今年の一押し商品」発表会が好評だったことから、その第2弾として行われました。参加者がお互い顔を見合わせ、自由な質疑応答ができる円卓式の机配置が取られました。主な発表はオプトデザイン研究所の佐藤さんによる「光学式非接触表面形状測定ピックアップZP-01」及び三葉光機製作所の荒川さんの「ポケットタイプの新しい簡易顕微鏡」大興製作所の奥田さんによる「石英ガラス製品とオプティカルデバイス」の紹介などにつづき、ライン電子の高野さん、ジャパンセルの深澤さん、NAVAの関さんはLSD拡散板などバラエティに富んだ充実した2時間となりました。今後もこの発表方式の実施回数を増やし、会員全員が発表の機会を持っていただくよう幹事一同願っております。

(文：川澄 英明)

平成9年4月 第98回

「自社技術紹介」

「真空蒸着・イオンプレーティング」四月の例会は薄膜コーティングに付いての講演で岡本硝子株式会社マルチコート部長菊月 康二さんから蒸着技術の基本的な構造やその空間のプラズマの状況などの説明があって、またその目的物によって種々な条件設定があり一口で蒸着と言っても大変なものだという事が門外漢の私にも理解できた。今回のテーマはかなり難しい内容だったので何回かに分けるとか、繰り返して同じ内容を復習しながら学というようなことがあってもいいのではないかと 今後のシンポジウムの指針にもなった。

(文：山形 康文)



平成9年5月 第99回

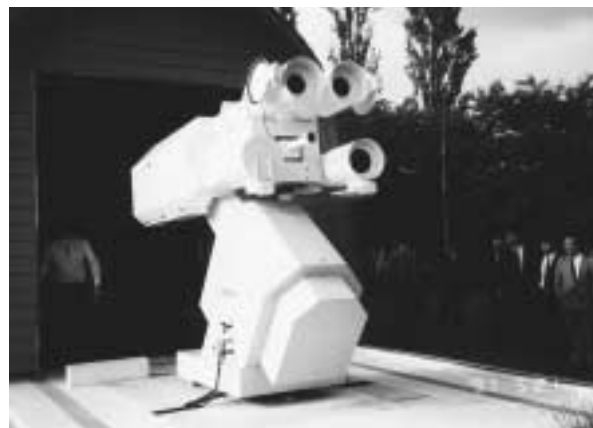
見学会

「国立天文台」

五月の例会は久しぶりに外出、三鷹の国立天文台見学となった。広報室長の渡辺さんから案内を受け、まず始めに重力波検出装置（検出出来ればノーベル賞も

のという)の建設中の現場を見学した。この一辺が300mのレーザー干渉計は光を地下に走らせ光の波長の十億分の一の変化で重力波を観測しようというもの。外乱光を避けるため光路を真空に保つ内部鏡面のパイプなど苦心の結晶が印象的だった。その外、星の絶対位置を決定する自動子午環、太陽フレア望遠鏡などを見学。また敷地内には天文観測から時間を決定する原子時計システムもあった。国立天文台は見学した三鷹の6施設の他、45m径のパラボラを持つ長野の電波望遠鏡を始め国内各所に6箇所ある。また海外との連携研究施設を持つ日本の天文学研究センターである。

(文：山形 康文)



平成9年6月 第100回

「講演・自社技術紹介」

六月の例会は三つのプログラムで、排水処理におけるUVの活用という服部エンジニアリングの服部 宏安さんの講演。従来からオゾンを用いていたがUVを併用させると酸化効率が大きく改善され、反応時間2時間で処理水のCOD濃度は約1/6になったという。次いで国際光バイオテクノロジー委員会の大山宣夫委員長から同会の活動紹介があり、地球環境改善に光合成を最大限に利用するため、多岐にわたる分野の学問的な研究も商業ベースに乗るようなインターフェースを努める方針で活動されているとのことである。最後は日新工機(株)柳寿壮さんの自社技術紹介で画像処理用オートフォーカス装置に付いて説明。本品はCCDの映像信号から焦点を検出するもので外部コンピュータとのインターフェイスも装備している。

(文：山形 康文)

インターオプト展共同出展

今年も7月16日から19日まで幕張メッセに於いて行われる日本最大のオプトエレクトロニクスショーとして定評のインターオプト展に共同出展する。最大の宣伝



効果を最低の費用で行う事を目的に 昨年の倍の広さの6小間(間口9m巾6m)を確保し10社が展示出展する。またカタログコーナーも倍増しより見やすく効果の高い出展を目指している。

会員並びに一般の方々の来場をお待ちしています。



昨年の出展風景

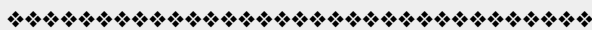
新会員紹介

ジオマテック株式会社

登録代表者 新製品開発グループ 次長 高梨 達與
146 東京都大田区矢口3-13-7
TEL. 03-3759-9325 FAX. 03-3750-9710

業務案内

当社は設立以来、「社会への光の応用」をテーマに真空成膜技術の確立に努めてまいりました。主な製品は液晶用ITO膜。ダイクロイック、赤外カット、バンドパスフィルター。各種金属膜、YAGレーザー光学系の製造を始め共同開発、受託研究製品の試作加工を行っております。



株式会社日新化成

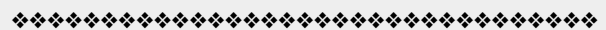
登録代表者 代表取締役 藤森 輝尚
331 埼玉県大宮市宮前町821
TEL. 048-624-8450 FAX. 048-624-8404

業務内容

光通信・電子機器・電機部品・自動車用など幅広いプラスチック成形部品の製造会社です。ミクロン単位の

超精密成形、高温リフローに耐える耐熱性樹脂成形、リードフレーム・コイル各種素子を封止する複合化成形なども得意としています。設計の段階から御相談下さい。

一般モールド部品、リードフレーム成形部品、封止成形部品、超精密樹脂成形部品



株式会社バンガードシステムズ

登録代表者 開発 園田 健彦
359 埼玉県所沢市東所沢1-3-6 新平野町ビル3F
TEL. 0429-45-2081 FAX. 0429-45-2083

業務案内

半導体製造装置の自動化には欠かせないティーピングマシンやその他の周辺機器を開発し、国内外の半導体・電子部品メーカーに提供しているR&Dファブレス企業です。ティーピングマシン、剥離強度テスター、画像処理装置、LED照明装置等

光
交
流
会
ス
ケ
ジ
ュ
ー
ル

7/24木第101回見学会
「バイオテクノロジーの現状」

8/27水第102回懇親会
「100回越を記念して」

9/17水第103回定例会

光交流会ホームページ

<http://www.venture-web.or.jp/oepa/>

会の活動予定や会員企業の得意分野の紹介し、より多くの方々との交流するためホームページを開設しました。ここから会員各社のホームページに飛ぶことが出来ます。また会員向けに安価なパッケージ企画も計画しておりますので興味をお持ちの方は事務局までお問い合わせください。



光交流会事務局 C/O(株)NABA 代表幹事 関 英夫
〒153 東京都目黒区目黒2-1-14 野村ビル2F
Tel.03-3792-5890 Fax.03-3792-5937